

2026年カレンダー デスク用 厚紙に印刷 はさみ カッターナイフ 穴あけの道具 ボンドかのり わりピン 青色部分は端まで使う

毎日1回まわすことで今日を大切にできます

A 裏面 2026年 令和8年 祝祭日

元日	1月1日(木)	憲法記念日	5月3日(日)	敬老の日	9月21日(月)
成人の日	1月12日(月)	みどりの日	5月4日(月)	国民の休日	9月22日(火)
建国記念の日	2月11日(水)	こどもの日	5月5日(火)	秋分の日	9月23日(水)
天皇誕生日	2月23日(月)	振替休日	5月6日(水)	スポーツの日	10月12日(月)
春分の日	3月20日(金)	海の日	7月20日(月)	文化の日	11月3日(火)
昭和の日	4月29日(水)	山の日	8月11日(火)	勤労感謝の日	11月23日(月)

立てるときは
㊦の部分
を
谷おりして
直角に
おこし
次に㊦の
部分を
谷おりして
おこすと
㊦が固定
する

立てる部分
太い黒線をカッターナイフで切る
点線で
谷おりする

A 表面 ㊦

この灰色部分は
カッターで
切り取る

2026年
令和8年

印刷すると用紙の
端まで線が印刷
されないの㊦を
切るときに気を
つけてね

山おり
谷おり

青色部分は
端まで使う

吊り下げるときに
つかう部品
机に立てるときは
いらない
組み立てが
終わったら
のりをつけて
Aの㊦の
部分にはる

E のり

F この部分にのりをつけ ㊦の部分につける

Fはメモスタンド これはつけなくてもいいよ

B

×

つくり方
①A B C Dを切り取る
②Aの灰色部分をカッターで切り取る
③Aの表面に好きな絵やイラストをかき色をぬる
④Aの立てる部分の太い黒線をカッターで切る
点線に折り目のすじをつける
⑤Aを半分におり、Aの表×から裏へ穴をあけておく
B C Dの×に穴をあけA→D→C→B→Aの裏の順で
わりピンにさしていき、Aの裏でわりピンを広げる
⑥Aの表面の㊦と㊦の裏にのりをつけ山おりしてつける
⑦Aの表の㊦の部分の裏にのりをつけ山おりしてつける
⑧立てる部分の折り線でおり広げて立つようにして完成
※かべに吊り下げるときは⑧をつくらずにEを使う

C

Thursday
Friday
Saturday
Sunday
Monday
Tuesday
Wednesday

D

January
February
March
April
May
June
July
August
September
October
November
December

図① わりピンがないとき
つまようじや竹串を軸に使う
家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙(薬を買った
時の錠剤のシート ストロー
紙箱ダンボール ハガキなど)を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通し、
カレンダー部品をA表→B→C→D→A裏の
順につまようじに通す。
最後に図②のように2つめの部品を
つまようじにさして、カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。

図②

錠剤のシート